

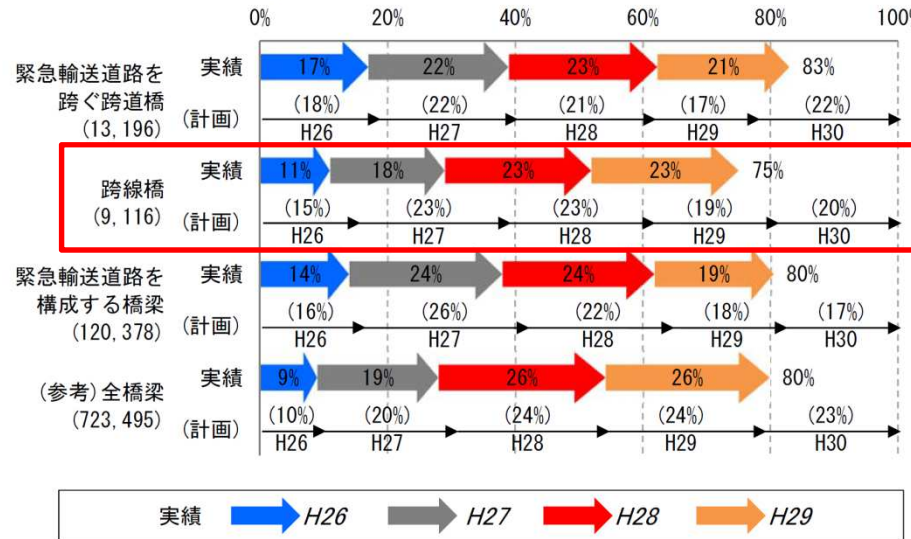
跨線橋の点検結果及び修繕状況について

跨線橋の点検および修繕の計画的実施について(全国)

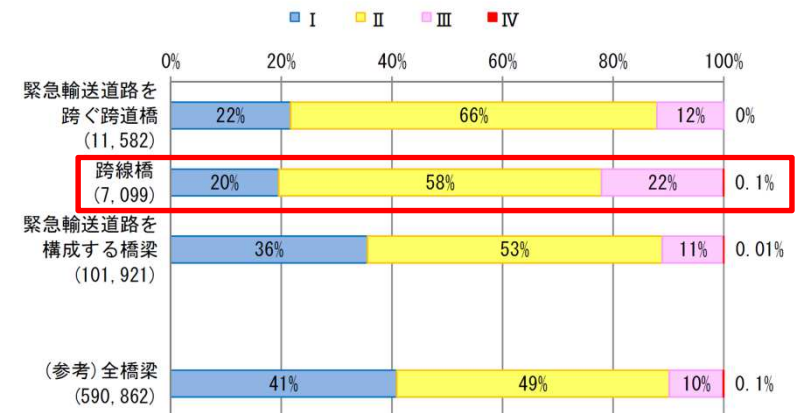
○緊急輸送道路及び跨線橋等の点検実施状況

- 緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋、跨線橋、緊急輸送道路を構成する橋梁については、第三者被害の予防等の観点から、最優先で点検を行うこととしています。
- 緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋、緊急輸送道路を構成する橋梁の平成26～29年度の累積点検実施率は8割以上です。
- 跨線橋の累積点検実施率は、橋梁全体の累積点検実施率に比べて低い状況です。また、判定区分の割合は、橋梁全体の判定区分に比べⅢの割合が高い状況です。

○緊急輸送道路及び跨線橋等の5年間の点検計画・累積点検実施率(全道路管理者合計)



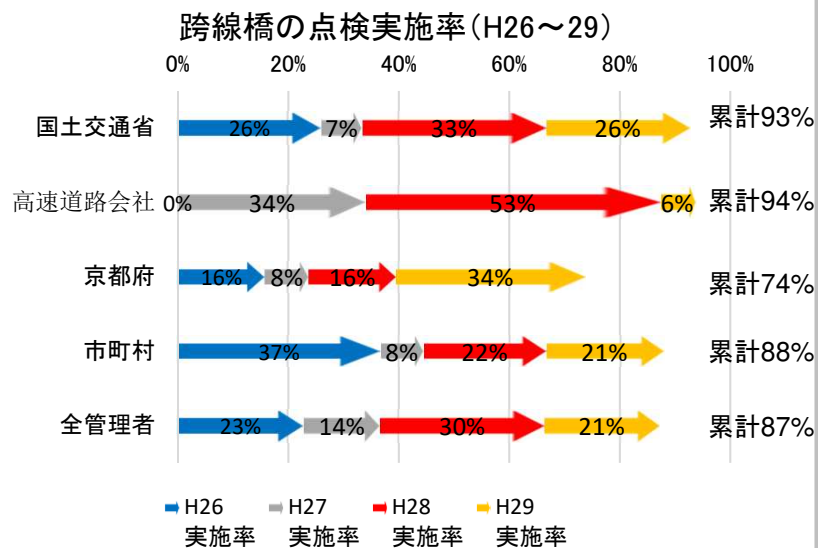
○緊急輸送道路及び跨線橋等の判定区分の割合(全道路管理者合計)



(出典:道路局メンテナンス年報)

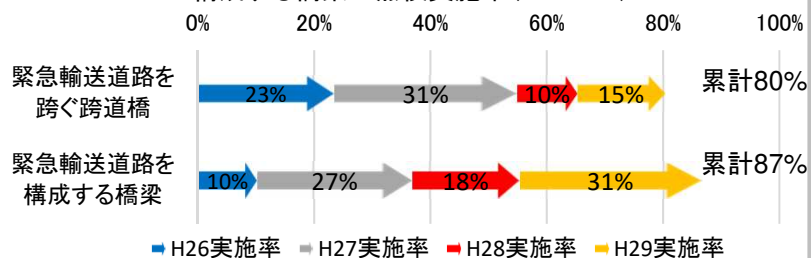
跨線橋の点検実施率及び点検結果(道路管理者別・京都府)

点検実施率(H26～29累積)



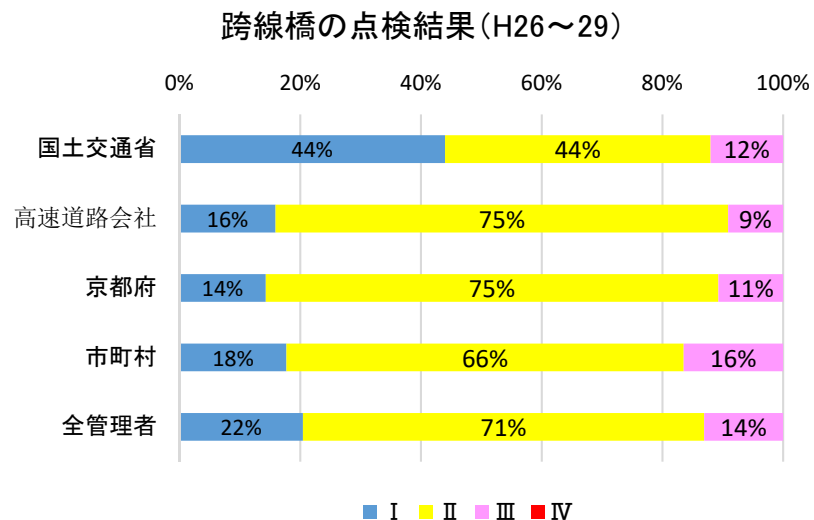
※H29確認書及びH26～H29点検結果をもとに集計
 ※四捨五入の関係で各年度の点検実施率の合計が累積実施率と異なる場合がある。

(参考) 緊急輸送路を跨ぐ跨道橋及び緊急輸送路を構成する橋梁の点検実施率(H26～29)

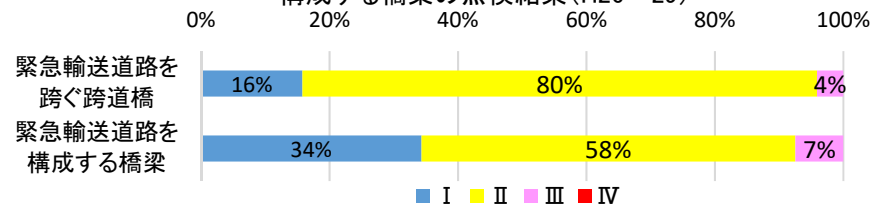


※H26～H29メンテナンス年報をもとに集計
 ※四捨五入の関係で各年度の点検実施率の合計が累積実施率と異なる場合がある。

点検結果(H26～29累積)



(参考) 緊急輸送路を跨ぐ跨道橋及び緊急輸送路を構成する橋梁の点検結果(H26～29)



- I 構造物の機能に支障が生じていない状態
- II 構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
- III 構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
- IV 構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態